

## 《入管面談・裁判シミュレーション》

日本の入国管理施設では、非正規滞在者の収容が、必要性も示されず、司法による審査も受けられず、期限も決められずに行われてきました。その結果、健康状態を悪化させる事案や、施設内での死亡という最悪の事態も起きています。この問題を肌身で理解するために、**被収容者との「面談」**や**収容の違法性を問う「裁判」**を模擬的に体験できるシミュレーションを開発しました。この体験を通じて、**被害者の気持ちを感じる「心（KARDIA）」**と**被害者の苦境を救う「知（DIANOIA）」**を養い、入国管理制度のあるべき姿を想像／創造していきましょう。



【日時】2022年12月11日(日)14:00～16:30

【場所】西南学院大学 法科大学院棟 法廷教室

【申込】kardianoia2022@gmail.com宛のメールに氏名・所属を記入してお送りください(12月7日(水)まで)



### 《入管面談シミュレーション》

入管施設での被収容者は、自国に帰れない事情を抱えながら、退去強制に晒される恐怖と、先の見えない長期収容の絶望に苦しんでいます。このシミュレーションでは、大村入管センターで面談を実体験した学生が被収容者役を演じ、参加者が訪問者となって会話をを行います。その会話を通じて、**被害者の気持ちを感じる「心」**のあり方を探求します。

監修：竹内正宜 行政書士（面会ボランティア）



2019年度対面実施の様子

### 《入管裁判シミュレーション》

大村入管センターで収容されている方が、適切な治療を受けられずに健康状態を悪化させています。その方は被収容者の「健康への権利」を求め、政府を相手に医療訴訟を提起しました。このシミュレーションでは、裁判傍聴を実体験した学生が原告弁護士の弁論を再現します。その裁判を追体験することで、**被害者の苦境を救う「知」**の可能性を探究していきます。

監修：稲森幸一 弁護士（原告弁護団）



長崎地方裁判所（個人撮影）